

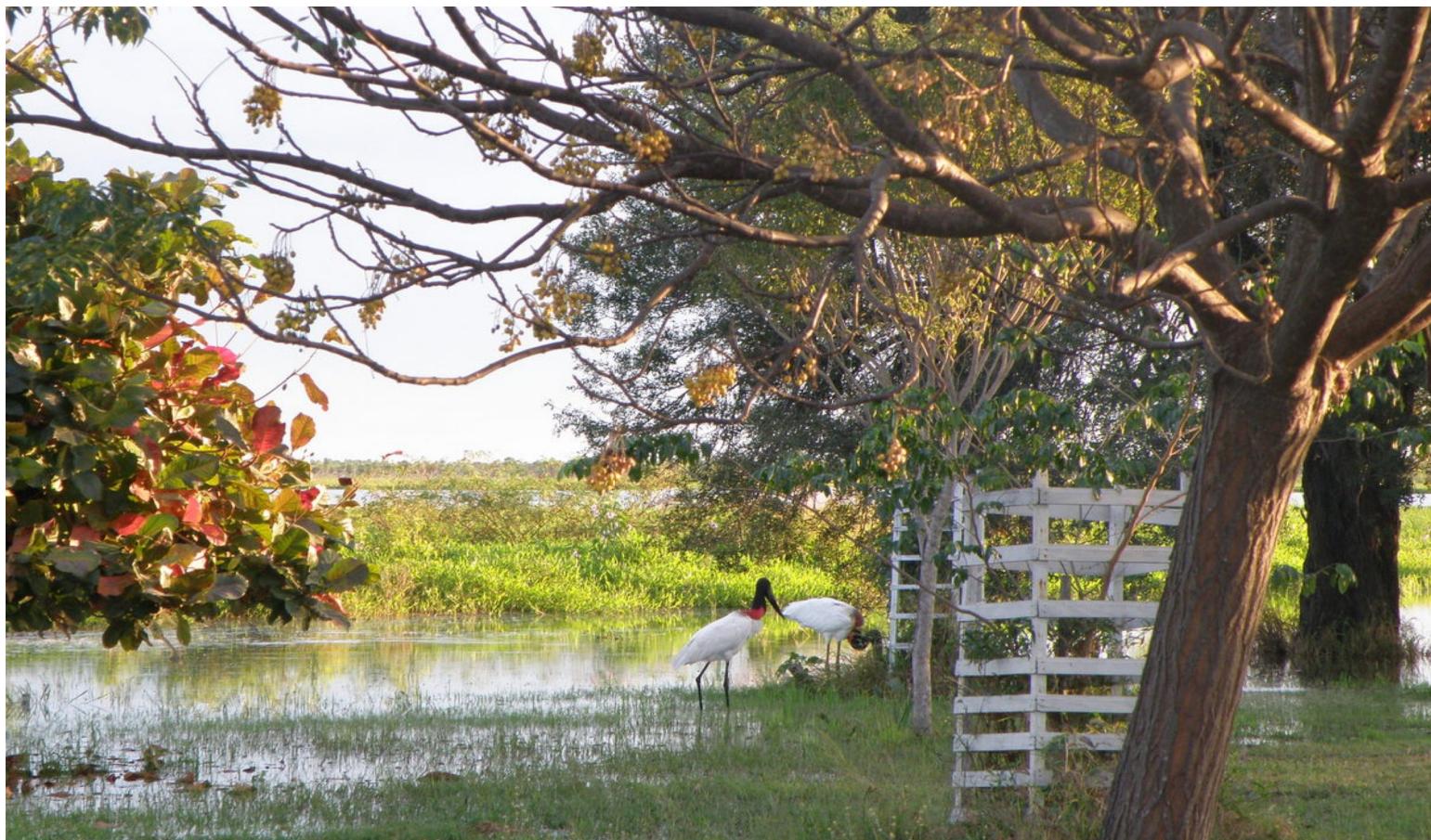
パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2011年7月1日

94号



ゲストハウスは一階部分が浸水



ゲストハウスで憩うカピバラ（2011年6月撮影）

鳥の楽園、観光の王国レダ（レダ開発十一年間、初めてパラグアイ川の水が土手を超える勢いになつております。レダ在住者には新たな挑戦となつています。左の写真にあるように一部の建物は一階部分が浸水し、一階に設置されていた家具などを二階に移し、対応に追われました。事務局、滞在員の宿舎として使つていた建物も浸水しはじめたため、国際研修センター二階部分に移動しました。世界最大の湿地帯の開拓にとつては貴重な経験となり、今回の経験を元に、多くの事を学び、対策が練られる契機になりました。レダで開拓に励むメンバーは意気軒高です。五月はレダには雨が降ることがなく、上流から流れてくる川の水の増水の影響だけでしたので水位は一日一cmほどの上昇でしたのでこのままいけば六月の終わりころから水位も下降して行くと思われます。飛行場は土盛りをしてありますのでアスンションとの往来には問題はありません。



対策に追われる現地スタッフ
一方、水の浸水を楽しむ鳥達



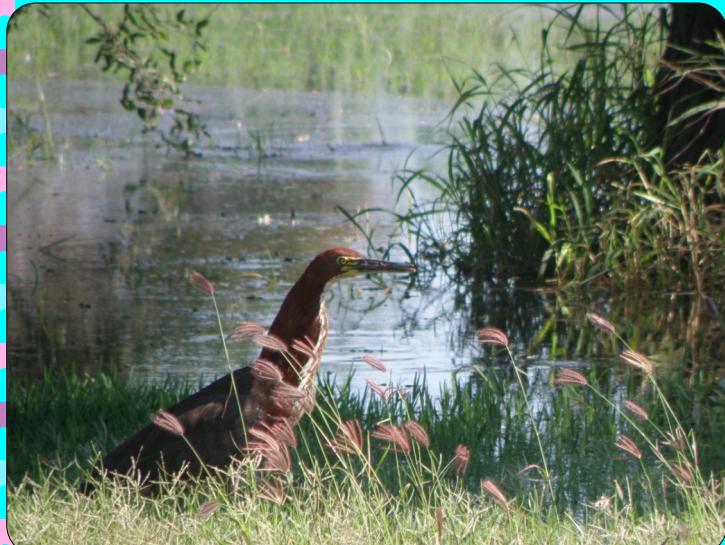
【土手補修作業】
水位の上昇に伴い、隨時土手を積み上げて来ましたが、短い期間に、土手の下を水が本流から流れ込んで3号池の水面が上昇、それに青木さんが気づいて直ぐに報告、夜遅くまでパブロさん達によつてトラクターを使って補修作業を敢行し事なきを得ました。
以前未だ川面が低かつた時、池の水を抜くために川に向けて溝を掘つて水を流していた所を、充分固めないまま土手をその上に積み上げて置いたため、その部分に本流の水圧で水が次第にしみ込み、土を溶かし、遂に池に達したことが原因でした。水は必ずしも上から堤防を越えて来るだけではないことを知りました。
発見や手当てが遅ければ、一気に堤防が下の方から決壊する可能性がありました。

写真説明

左上：上記の土手道。中ほど右側に土がはみ出た所から左の池に向かって水が入り込んだ。写真は修理した後の現在の状況。

左中：今日も低い土手の補強作業が続きます。研修所南側土手（運転ハイロさん）第五の池の南側から、土が掘られて運ばれます。これも天気続きたから出来る作業で、雨が降れば土が乾くまでアウトです。その意味でも上流からの水は増えてもレダでは一ヶ月以上も雨が降らずにいるので、神の守りのようです。（六月三日 飯野記）

飯野先生、六月に撮った写真（自然の王国、レダ）



第11回国際協力青年ボランティア支援のお願い

(2011年8月25日-9月10日)

現金での支援または未使用のはがき、切手、 テレフォンカード、印紙を集めています

現金は郵便口座 10180 77680471 南北米福地開発協会 代表 柴沼邦彦
ハガキ、切手等は
〒213-0001 川崎市溝口3-11-15 岩崎ビル4F 南北米事務局へ

第十一回国際協力青年奉仕隊の準備が進んでいます。
多くの方が奉仕隊に参加したいと申請をして下さいました。
世界の開発途上国への貢献したいとの願いを持つて来る青年
達の小論文を見、日本の未来にも希望を感じさせられました。
現地、オリンピ市の市議会において市を挙げて歓迎すると
の決議をして頂ける準備をしてもらっています。
今年の奉仕隊の成功のため、内外の支援をお願いします。
国際協力青年奉仕隊 責任者 柴沼邦彦

申請者の小論文

私が国際協力青年ボランティアに参加したい動機は日本と言う島国で何不自由なし日常生活を送つていて具体的には例を列挙すると毎日、一日三食、食べれる事。また毎日違う服を着れる、住居もあり睡眠もとれると論じたように、衣食住において世界は貧困と飢餓で苦悶して一日に三万人の子供たちが命を落としている現実に胸が痛いばかりです。

また、世界では格差社会、資源戦争、治安が悪いことから無差別に人々を殺害しています。この命の危機にさらされてもおかしくない中、私は非常に恵まれた環境圏である為、若い内に世界で苦しんでいる人々を実際にこの目で状況を把握して視野を広げて価値観、考え方を変えて今後の人生に全身全霊で生かしていきたいです。」

今回、レーダー行きの話しが聞いた際、母が南北米福地開発協会のウェブサイトを見るよう示唆してくれた。自身が今回応募するに至ったきっかけとなったのは、そのサイトに載っていた写真である。東京と同じ大都会で育ってきた自分にとって、雄大な自然に触れることができる機会は少ない。それが、その壮大な自然を自身の目で見、手で触れることができたら、どれだけ素敵だろう、と思った。今の自分にとつて地球の裏側に位置するパラグアイ、パンタナールといつ未知の土地を自分の脳裏に描くことができないが、その体験を通して、この世界に対する「新しい視野」を得ることはできるのではないかと期待する。」

地球家族として 自然を守りましょ。つ

南北米福地開発協会 会員の募集中

南米、パラグアイ、パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。

各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区溝口二丁目十一十五

岩崎ビル4F

電話

Fax

○四四一八一九一一八二一

会費納入

一〇一八

〇一七七六八〇四七一

郵便口座

代表

柴沼邦彦

ホームページ

<http://www.asd-nsa.jp>